

# 笑 顔

☆まあるいじかん☆

篠山東中学校 3年1組学級通信

第 49 号

2018(平成30)年10月12日発行

発行者 松田 淳二

## 体育祭を振り返って【今後の生活編】

体育祭を振り返ってから今後の生活についてみんなが書いたものを載せます。文化祭や進路実現に向けてもう一度、読み直し、みんなの思いを知りながら、42人全員で意識をしていこう。

### 【今後の生活編】

- 今後も心を1つにしていきがんばりたいし、色々なことに挑んでいきたい。みんなで何事も挑む！！みんなと学校愛やクラス愛をもっと頑張りたい。そのためには、みんなとコミュニケーションをもっととったらクラス愛につながると思うのでがんばりたい。
- 準備の大切さを文化祭と受験勉強に活かしていきたい。具体的には、文化祭では少ない時間の中で歌や演劇を仕上げないといけないので歌の場合、音楽の時間でリーダーから言われた指示を素直に受け入れなるべく完成に近づけられるようにしたい。演劇では、背景や道具などを早めに作り本番と同じ環境で練習ができるようにしたい。受験勉強では、授業と休み時間のメリハリをつけたり、積極的に自分から発表したりしていきたい。
- 準備を大切にすると心と感謝の心を持って生活していきたい。
- テスト勉強や学校生活、文化祭に向けて準備をしっかりと成功できるようにしたい。また、「分からない」と素直に言って、「ありがとう」と「ごめんなさい」が今後の生活でもしっかり言えるようになりたい。
- 体育祭で得た3の1の絆や気持ちのつながりを大切にすれば3の1はもっともっといいクラスになる。
- 普段の生活で目標を決めたときに1人ひとりの気持ちを高めて意識しながら生活する。
- 集中力をグッとしていろんなことに挑戦したい。
- 綱引きで我慢する心が育ったのでそれを勉強で分らない所が出てきたときに教科書で調べたり、友だちや先生に聞いたりして解けるようにしていきたい。応援の練習を工夫をしながら家で何度もできたので勉強の復習も何度もしたり、陸上でう



まくできないときは工夫をして取り組んでいきたい。

- 進路とかも皆で団結して実現をめざしていきたい。勉強や授業でしっかりメリハリをつけられるようにする。お互いに認めあい、助け合いながら3の1をより良いクラスにしたい。
- 挑むを全員が意識をして体育祭のように何事にも挑んで、周りのことを考えながら声をかけあい、助け

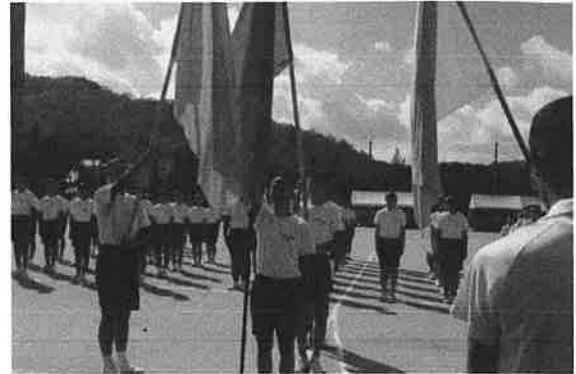
合っていきたい。けじめをつけて授業に集中し、全員で進路実現に向けて助けあいながらがんばっていく。

- 勉強で分からなかったり、嫌でも前向きに考えられるようにしたりしんどいことがあっても諦めないようにしたい。クラスで挑むことがまだあるのでみんなで一つになったり、新しいことに挑戦したり、声を掛け合ったりして次の文化祭や受験に向けて頑張りたい。私生活では時間をもっと意識して受験に向けて頑張りたい。

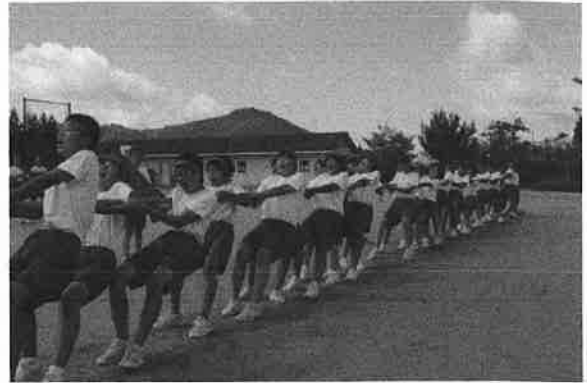
- クラスのために頑張ったことを続けていきたい。みんなのことを褒めてクラスの雰囲気をよくして文化祭へどつないでいきたい。生徒会の仕事も体育祭のように準備を大切に頑張っていきたい。クラス全員がクラスに欠けているものに気づきがんばれば良いクラスになる。
- 授業前後の時間や昼休みをもっと効率よく有意義な時間にしたい。漢字などの普段からやらないといけないことにもみんなで一つになって挑んでいきたい。

- 3の1全員で力を出せばよい形で終われるということが分かった。逆を言えば一人欠けてもよくないということだ。1人ひとりの持っている力ややるべきことをしっかりしてさらに3の1が成長すればいいと思う。
- 体育祭で一つになれたので、このまま漢字ノートの日数を増やしたり、忘れ物をなくしたりしていきたい。仲間を信じて日々頑張っていきたい。困っている人に声かけができるクラスになったと感じたので分からなかったり、困ったりしたことを共有していきたい。

- 責任を持って仕事をする 것과自立に向けて努力していくことである。
- メリハリをつけた行動ができていたので、授業前は3分前着席をして1分前には静かにすることやどの場面でも人の話を真剣に聞くようにしたい。
- 正直しんどいところもあったが、そんなときに声を出して自分自身やクラスのみんを鼓舞したりしながらできたので続けていきたい。またクラスとの会話もできたところがあったので会話をして気持ちをそろえて正しく理解をして生活したい。
- 諦めないことや準備することを活かして受験勉強や普段のテスト、忘れ物をなくすことに挑み、良いところを増やしたい。



- 自立と感謝を行動として表したい。例えば、家の手伝いをしたり、やるべきことを果たしたり、準備、片づけを充実させたり時間を守ったりしたい。そして、進路に向けて、体育祭で気づけた「自分はこのまでやった」ということを自信にし、今以上に勉強に励みたい。
- 裏方の仕事を一生懸命にしたい。体育祭よりも感動できる文化祭にしたい。
- 受験は団体戦なのでクラス全員で励まし合って、支え合って、応援し合えたらいいなと思う。個人的には、協力してもらった人に恩返しができるように自分のできることはどんどんやっていこうと思う。
- 体育祭では心をついに団結する大切さを学び、組体操などの多少苦しくなる練習でも踏ん張る忍耐力が身についたと思う。受験勉強に忍耐力は必要だと思うのでそこを大切に生活をしていきたい。
- 普段の生活の中で、声かけや自分から積極的に動くなどしていきたい。一人ひとりが積極的に動くことにより、クラスがより明るく良いものになっていき、それを毎日続けることで団結につながると思う。団結すると今までできなかったことができるようになり、3の1の絆がより深まると思う。また、体育祭の成功につながった「準備」も大切に日々を過ごしたい。
- 難しいところを何回もやったり、分からないところを分からないと言ったりすることを普段でもできるようにしていきたい。
- 練習では難しかったけれど練習で何度も教えてもらって本番でできたことがよかった。
- 最後まであきらめないことを活かしていきたい。
- 人とのコミュニケーションが増えればいいと思う。
- 体育祭で身につけたメリハリと考える力を日常生活で活かしていく。
- 体育祭で心が1つになったので気を抜かずに忘れ物がないようなクラスにしたい。3年生として、1、2年生からすごいなとかこんな先輩になりたいと思われるような人に3年生全員がなってほしい。
- クラス愛を育んだり、悪い流れを断ち切って良い流れにしたりすることができた。漢字ノートや掃除などの日常の細かなことでより良い状態で学習や生活ができるように気づいたことを実践できるようにしたい。
- 台風で休みの日に、応援合戦のしおりに見て練習をしていたので、自信を持ってできた。準備の大切さが分かった。定期テストでも準備をしっかりしたい。雰囲気を作ることも大切だ。テストの雰囲気、体育祭の雰囲気がとても大事だと思った。
- 家でダンスや応援の練習をして、できるだけ遅れないようにした。そのおかげでスムーズにできてよかった。これは勉強でも同じだと思う。自分が苦手なところや分からないところは学校での復習だけでなく家でもしっかり確認してスムーズに学習できるようにしたい。普段からこのことを意識して、受験に挑んでいきたい。
- 練習を本番のつもりでやるのが大事だ。また、信じることと挑むことを活かしたい。体育祭でできたので続けていきたい。



- 心を1つにできたのは、勝ちたいという共通の強い思いがあったのが要因だと思う。日常生活では、受験という大きな目標に心を1つに挑みたいと思う。目標とする進学先はそれぞれに違うが、お互いに高めあい励ましあって勉強したい。また、準備と後片付けはいつでも大切だと思う。今までもやってきたことだが、給食の準備を早くしたり、使ったものをもとの場所に戻したり、全員が気づきできるようにになればもっとより良い学校、より良いクラスになると思う。
- 文化祭は体育祭以上に準備が必要だと思う。演者も裏方も意見を出し合い自分たちでよいものになるように仕上げていきたい。準備も後片付けも含めて最高の文化祭になるようにしたい。
- 体育祭で学んだ学校愛、クラス愛、感謝の気持ちを最大限に使って、普段の生活の小さなことにも愛を持ち、小さなことにも感謝をし、最後まで決して諦めずに学校生活をしていきたい。また、次の行動を頭に入れ、早め早めの行動をしていきたい。
- 日常の生活でもまわりをしっかりと見て何をどうすればいいのかを自分で考えて動くことができるようにしたい。

